

元監督官の弁護士が明かす！ 送検・監督のリスク管理

— 安全衛生・労災編 —

オンライン・ライブセミナー

参加
無料

労働基準監督制度は、刑事的な罰則を背景として行政指導により間接的に企業に是正改善を促す仕組みとなっており、司法事件として処理されるケースはほとんどありません。では、どのような場合に監督官は司法事件として捜査・送検するのでしょうか？ 企業は、どのような点に留意すれば良いのでしょうか？ 本セミナーは上記の点について、元「かとく」監督官の西脇弁護士に解説いただきます。

主要な内容

近年の労働基準行政の動向 / 安全衛生・労働災害のリスクマネジメント
具体的な送検事例

開催日

2021年 **6月10日** (木)
15:00～17:00

参加費

無料

受講用URLは、6月8日頃に「ZOOM」のサーバーからメールを送信しますので、受信できるように設定ください。

申込み

労働新聞WEBサイト内の『セミナー ⇨ 定期刊行物購読者様向けセミナー』から、もしくは、右のQRコードの申込みフォームからお申し込みください。



視聴方法

「ZOOM」の「ウェビナー」を使用して配信いたします。ご使用の端末に「ZOOM」アプリをダウンロードの上、ご視聴ください。

※当日のセミナーは録画をします。労働新聞または安全スタッフの読者様は、後日労働新聞・安全スタッフ電子版にて**セミナーの録画動画**をご視聴いただけます。



講師

TMI総合法律事務所 弁護士

西脇 巧 氏

第一東京弁護士会、東京社会保険労務士会に所属。弁護士のほか、労働衛生コンサルタントや社会保険労務士の資格も有する。元労働基準監督官のキャリアを持ち、退官前の2016年11月～2017年4月には東京労働局の「かとく」に所属していた。専門は労働分野。現在、労働新聞に「送検・監督のリスク管理<事例徹底分析>」を連載中。

問合せ

労働新聞社 四国営業所 (担当: 合田)

TEL: 0875-52-1805 FAX: 050-3730-7733
Mail: shikoku@rodo.co.jp